

さかいみなと漁港・市場活性化ビジョン（概要版）

平成25年3月 さかいみなと漁港・市場活性化協議会 策定

背景

強み

- 境漁港は、西部日本海最大の漁港として、水産物取扱量は全国でも有数（H23年全国第3位）
- まき網漁業、べにずわいがに漁業、沖合底びき網漁業、いか釣り漁業、各種沿岸漁業により、四季折々の多種多様な水産物が水揚げされる
- 背後地に大規模加工団地、重要港湾を有するほか、資材、道路、労働力等が揃った港

but

課題

- 災害への対応（耐震基準未対応）、係留岸壁の充実、漁港利用者の利便性の向上
- 水産資源の減少（S61-H6：50万ト超→近年約10万ト）、魚種組成の変化、魚価安
- 手狭な上屋・荷揚げ岸壁、衛生管理対応の遅れ、市場施設の老朽化
- 魚離れ、消費地ニーズへの対応（食の安全・安心、手軽さ、産地一次加工）、海外消費量の増大
- 水産物直売センターの集客の長期減少傾向、観光分野との連携、食育・魚食普及活動の促進

将来のあるべき姿

社会に信頼され、活力があり、親しまれる漁港・市場

<基本目標>

- ◇災害に強く、消費者の「安心・安全」のニーズに対応した高度衛生管理型の漁港、市場
- ◇付加価値の向上を推進するとともに、大量水揚げ・迅速処理にも対応できる漁港、市場
- ◇新鮮で豊富な水産物を提供し、地域の観光資源となるとともに、地元で愛される漁港、市場

<取組方針と具体的な施策>

信頼される漁港・市場づくり (漁港・市場機能の強化)

- 災害に強い漁港、市場
 - ・地震、津波対策
 - ・避難場所の確保
- 衛生管理の強化
 - ・高度衛生管理型市場の整備
 - ・高度衛生管理体制の構築
 - ・汚水処理施設の改修
- 周辺環境の整備
 - ・係留岸壁の充実
 - ・利用者のための施設整備
 - ・臨港道路の高潮・振動対策

活力がある漁港・市場づくり (集荷・販売力の強化)

- 水揚物の付加価値向上
 - ・まき網物の小ロット販売による単価アップ
 - ・産地一次加工の検討
 - ・境港ブランドの創出
 - ・6次産業化の推進
 - ・管理記録の保持・情報提供
- 水産物の販路拡大
 - ・活魚出荷の推進
 - ・関西でのマーケティング
 - ・海外市場の開拓
- 陸上処理能力のアップ
 - ・まき網三者による需給調整
 - ・効率的な水揚げができる漁港・市場への再構築

親しまれる漁港・市場づくり (観光連携及び地域活性化の推進)

- 観光分野との連携
 - ・魅力ある水産物直売センターの創出
- 漁港見学ツアーの充実
 - ・早朝セリ見学の実施
 - ・見学通路の整備
- 食育・魚食普及活動の推進
 - ・学校給食等での地元水産物活用による食育の推進
 - ・継続的な水産イベント等による魚食普及活動

<ビジョンの位置づけ>

このビジョンは、境港を取り巻く現状とその課題を関係者で共有し、今後の境港の「あるべき姿」について意見集約を行ったものである。

具体的な施策については、できるものは速やかに取り組み、中長期的な課題は、国の高度衛生管理基本計画を念頭に、今後、具体化に向けた検討を進めていく。